

令和6年度 新潟南支部スローガン

進化発展

「未来を創る教育」の実現を目指す新潟南支部

- I 授業改革による深い学びの実現と未来を創る思考力の育成
 - 1 子ども自身が学ぶ意味や価値を見出す授業の実現
 - 2 生きて働く知識・技能として活用できる確かな学びの構築

- II 未来を創る実践力の育成 ← 地域教育プログラムの実践
 - 1 地域の魅力や強みを生かした教育や人づくり、地域づくりの拠点となる学校の構築
 - 2 社会の課題を「自分事」ととらえ、よりよい社会の実現に向けて参加・参画できる確かな実践力を育てる学びの実現

1 基本方針

(1) 進化のためなら、変化を恐れない教育の推進

不都合がある、成果が得られないなどとわかっていることを続けるのは、子どもの利益にならないことであり、組織として機能不全に陥っていると言わざるを得ない。

また、例年通りや現状維持では、問題意識をもたない、思考停止に過ぎない。会員一人一人の叡智を結集し、更に同僚性と協働性を発揮しながら、教育を進化発展させていくことが「新しい時代の教育をリードするときわ会」の使命である。働き方改革、部活動改革が叫ばれている今だからこそ、私たちは夢と希望、勇気をもって変えるべきは変えていくことが大切である。

(2) 学び合う教職員集団による学び合う子どもの育成

会員一人一人が教育に喜びを感じ、自信のある教育活動を展開するため、共に語り合い、共に励まし合い、心合わせて、教育者としての使命達成に努力する。これがときわ会本旨の具現であり、社会がどのように変化しようとも変わることのない教育者の集いの本質である。

新潟南支部においても、新学習指導要領に対応する会員一人一人の実践的指導力を高める研修の充実を基軸に、主体的に学び合う教職員集団を形成し、新潟市の教育を担うにたるときわ人を目指す。

(3) 肯定の連鎖あふれる教職員集団の形成

自己肯定感あふれる組織は、自己開示力・同僚性・協働性が高く、ベクトルも同一方向に伸びる。また、自己肯定感が他者肯定を生み、肯定の連鎖につながる。職位、役割、立場が違って、南区の教育は、私たち会員が牽引していくという情熱と気概をもって、肯定感溢れる風土の中で他者理解、他者意識に心掛け、関係性と絆を強めながら、南区の児童生徒の笑顔と瞳輝く学校づくりを進める。

(4) 凡事徹底

小さなことをおざなりにするような無頓着な組織はつぶれ、小さなことを大切にこだわる組織が正しく生き続ける。

誰でもできる当たり前のことを、当たり前にやるだけでなく、その当たり前のことでも、他の追随を許さないほど極めることこそ、進化をもとめる組織に必要なことと捉えたい。

「感謝と礼節」愛着と貢献」「思いやりと配慮」

「情報の管理、不正・非違行為の撲滅」

(5) どんな状況でも子どもの命と心、そして教育を大切にする姿勢の構築

新型コロナウイルス感染症の脅威により、子どもの命と心、そして公教育が危機に立たされてきた。

どの子にも等しく未来に夢と希望を抱くことができる教育の実現のため、不断の努力を行うことを改めて確認するとともに、子どもの健やかな成長と公教育のため自己研鑽を進め、ときわ会の「常に厳しく自分自身を鍛え、互いに磨き合う教師」の理念を追求する。

「教育を止めない、研鑽を止めない」

2 各委員会の取組

(0) 委員会運営に対する基本的な考え方

① 支部の特徴を生かした委員会運営

- ・コンパクト→臨機応変、顔の見える関係、情報共有のしやすさ
- ・複合地域→多様な文化・伝統、豊富な自然、情に厚い地域住民

② 喫緊の課題に正対した委員会運営

- ・コロナ禍の影響で低下した研修意欲と所属意識の喚起
- ・日々の教育活動に直結した研修、主体的に行う研修の推進

③ 委員長を中心とした組織の独自性の担保

- ・委員長と委員の発想を生かした意欲的で特色ある取組の推進

(1) 研修委員会

① 南区の児童生徒の成長に寄与する研修システムを創造する。

② 「ときわ人」としての資質・能力を意図的、計画的、系統的、主体的に育む研修とする。

- ③少数会員の強みを生かし、弱みを克服する研修とする。
 - ◇小さなグループで本音を語り合うシステムづくり
 - ◇認め合い、高め合い、支え合う絆づくり
 - ◇本音で語る、厳しい指摘も肯定的に受け止められる関係性の構築
- ④顕彰委員会は、優れた教育実践をしている会員を発掘し、支部顕彰制度に基づき表彰する。また、その活動について広く紹介するとともにその力を支部内外で発揮する場面を提供する。

(2) 組織委員会

- ①会員相互のパイプを更に強固する活動を実施する。
- ②個別に抱える課題解決に向けた支援体制を構築する。
- ③会員の研鑽努力に光を当て、広報委員会と連携し、一人一人の「特徴の見える化」を図る。
- ④人材発掘と活躍への道づくり
 - 個性や特徴を見抜き、個に応じた力量を高めるための方途の提供
- ⑤達成目標を設定し、若手会員や女性会員の入会を促進する。
- ⑥自立会員に光を当て、所属感・連帯感が深まるよう支援する。
- ⑦交流委員会は他団体との交流に関する情報について会員に周知する。
- ⑧さわやかネットワークを継続し、女性会員の交流を図る。

(3) 広報委員会

- ①定期的な広報紙の発行。より見やすく内容の充実を図る工夫改善に努める。研修委員会や組織委員会と連携し、会員の取組や活躍をより分かりやすく紹介し、会員一人一人に光を当てる。
- ②会員一人一人の情報や自主サークルの情報発信に寄与する。
- ③支部内の各学校の特色ある取組、地域紹介、地域人材の紹介等を会報、Web等を通して、他支部及び県内外に幅広く発信する。

(4) 学校運営研修委員会

- よりよい学校運営のあり方に関する研修を行う。